

令和5年度

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

学力向上検討委員会構成

岩倉小学校
「学力向上実行プラン」

- ①基礎的・基本的事項を身に付けさせる指導の継続
- ②考えを深めるための書いたり話したりする活動の充実

学力向上推進員	委員
---------	----

校長

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○漢字の読み書きや四則計算など、「知識・理解」の領域においては、ある程度の定着が見られる。 ●問題を的確に読み取る力や自分の考えを書く力、習得した知識等を実生活の中で活用することができていない。	・言語および数量や図形に関する基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けることができる。	・学習のめあてを明確にして、授業の見通しを持たせ、全校で統一した振り返りの仕方を提示し、自己評価をさせる。 ・読解力を身に付ける教材の活用をしたり、読書の感想や日記を書いたりすることを通して、文章を読み取り、自分の考えを書く力を身に付けられるようにする。	現状の取組を維持する。	・学習のめあてを明確にして、授業に取り組もうとする努力ができた。 ・継続した取組を行うことで、少しずつではあるが、読解力等の力が身に付いてきた。	・全校で統一した振り返りカードを見直し、共通理解し授業を進めていく。 ・各学年の実態に合わせたドリルの活用を行う。 ・デジタル教材とプリント教材の良さを生かす。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○グループ活動・ICT機器の活用等を通して、意欲的に自分の考えを発表できる。 ●課題に応じて、必要な情報等を取り入れたり、自分の考えをまとめたりすることに課題がある。	・学習したことを活用し、根拠や理由を明らかにして、自分の考えを書いたり発表したりすることができる。 ・人の話をしっかりと聞いたり友だちの考えと自分の考えを比べながら聞いたりすることができる。	・ペア学習やグループ学習の機会を設定したり、ICT機器や思考ツールを効果的に活用した発表や話し合い活動をさせたりする。 ・PBSの手法で、「聞き方名人」「発表の仕方」を活用して、聞く力や話す力の育成に努める。	現状の取組を維持する。	・場の設定の工夫を行うことで、自分の考えを根拠や理由をつけて話すことができるようになってきた。 ・人の話をしっかりと聞くことで、自分の考えを深めたり、比べたりすることはできていない。	・PBSの手法で、さらに聞く力の育成に努める。 ・話し合いの機会を増やすことで自分の考えと友達の考えを比べることができる力を身に付けさせる。 ・ICT機器を活用した取組を、次年度も活用する。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○宿題等、与えられた課題については真面目に取り組むことができる。 ●主体的に学習に取り組むことができるが、苦手な学習内容に対して、自分で計画を立ててやり抜く粘り強さに欠ける。	・自分の苦手な課題に応じてICT機器やプリントなどを使って主体的に学ぶことができる。	・子どもたちが自分の課題を把握し、目標の設定ができる環境を準備する。 ・子どもたちが主体的に課題を選び学習する時間を設定する。 ・個々の目標が達成できたか把握し、頑張り認められるようにする。	現状の取組を維持する。	・自分の課題を把握し進んで学習できる児童もいるが、目標設定できない児童も見られる。	・児童への課題の選択肢を増やす。 ・目標達成基準の見える化を行う。

令和5年度 学力向上ロードマップ

